

第2回円山川流域懇談会  
平成29年3月3日  
資料3

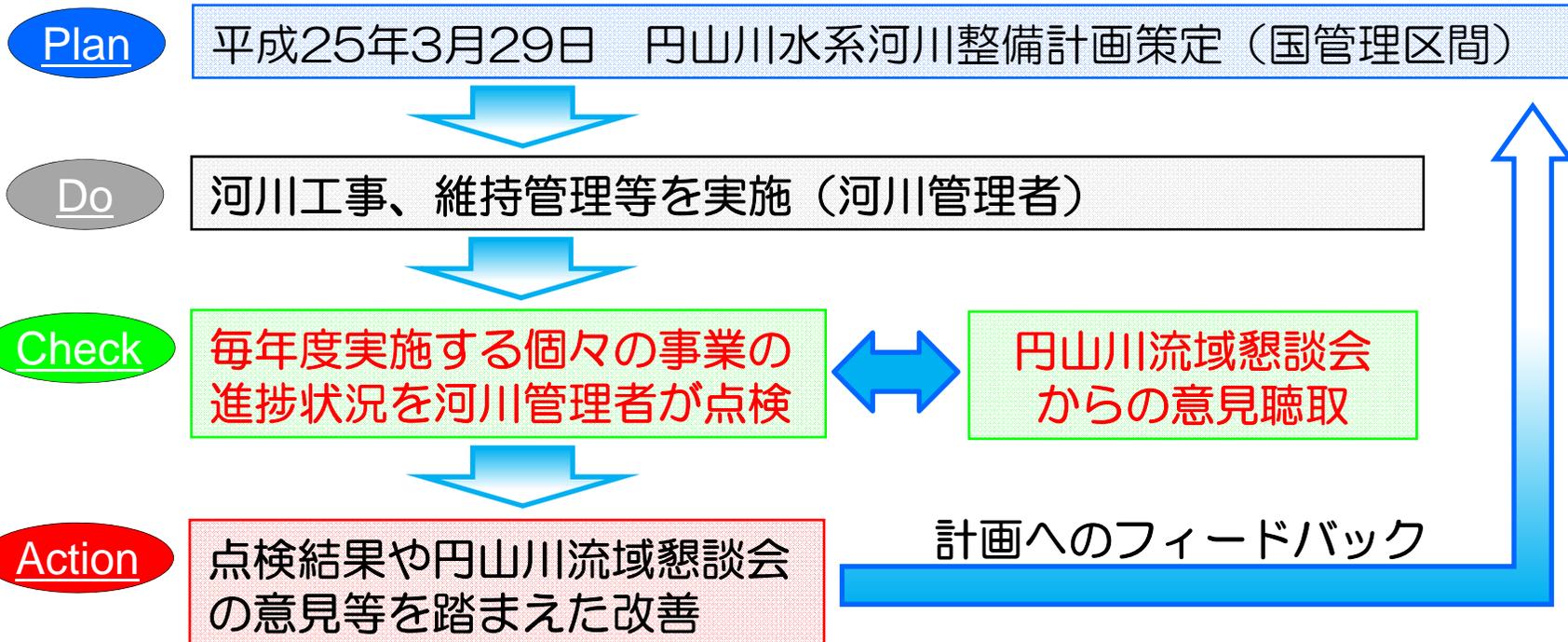
# 円山川水系河川整備計画の 進捗点検について

国土交通省 近畿地方整備局  
豊岡河川国道事務所

# 1. 河川整備計画の進捗点検の目的

円山川水系河川整備計画は、概ね20年間の具体的な河川整備に関する事項を定めたものであり、流域の社会情勢や自然環境の変化、地域の意向、河川整備の進捗状況等を適切に反映できるように、適宜その内容について点検を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

## PDCAサイクルによる河川整備計画の事業実施



## 2. 流域懇談会の進め方について

### 【進捗点検結果のとりまとめ】

- 河川管理者は毎年度、各事業の進捗点検の結果についてとりまとめます。

### 【3年毎の詳細な進捗点検】

- 流域懇談会(公開)への意見聴取は、3年毎を1サイクルとします。
- 河川管理者がとりまとめた各事業の進捗点検の結果について、委員の方々からご意見を伺い、次年度以降の事業に反映させます。

### 【事業実施報告会】

- 上記以外の年は、事業実施報告会(非公開)を開催し、事業の実施状況等に関し委員の方々からご意見を伺います。

### 【現地視察】

- 必要に応じて現地視察を行い、当年度までの事業の実施状況や次年度以降の実施予定箇所を確認していただきます。

	H24年度	H25年度 (1年目)	H26年度 (2年目)	H27年度 (3年目)	H28年度 (4年目)	H29年度 (5年目)	H30年度 (6年目)	H31年度 (7年目)
河川管理者	整備計画策定 (H25. 3)	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ	進捗点検結果 とりまとめ
円山川 流域懇談会		流域懇談会設立	事業実施報告会 ＋ 現地視察	事業実施報告会 ＋ 現地視察	流域懇談会 ＋ 現地視察	事業実施報告会 ＋ 現地視察	事業実施報告会 ＋ 現地視察	流域懇談会 ＋ 現地視察

### 3. 第1回 円山川流域懇談会以降の経緯について

#### 【第1回 円山川流域懇談会（平成26年3月29日開催）】

##### ●主な内容

- ・円山川流域懇談会の設立について
- ・円山川流域懇談会の運営について
- ・円山川水系河川整備計画の事業実施について（報告）

##### ●進捗点検に関する主な意見

- ① 点検事項・点検項目の評価で、B区分（達成度を数値として表せない）としている項目についても、目標を設定してそれにどれだけ近づけたかを評価できるのではないか。A区分（達成度を数値で表す）とすべきである。
- ② 個別の事業だけでなく、河川整備計画全体をチェックする点検シートが必要である。

#### 【事業実施報告会】

- 第1回 円山川流域懇談会での意見を踏まえ、進捗点検シートの修正を行い、事業実施状況の報告を行った。
  - ・平成26年度 事業実施報告会、現地視察（平成27年1月13日開催）
  - ・平成27年度 事業実施報告会、現地視察（平成27年12月22日開催）

## 4. 進捗点検の項目

### ● 円山川水系河川整備計画の進捗点検の項目と点検区分

分野	点検項目の数	点検区分の数	
		A区分	B区分
治水	13	12	1
利水	4	3	1
環境	15	11	5
維持管理	13	12	5
地域連携	2	2	1
合計	47	40	13

※ 複数の点検内容のある点検項目があるため、点検項目数と点検区分数は一致しない。

- 円山川水系河川整備計画の進捗点検の項目数は47である。
- A区分：達成度（進捗率）を数値化できるもの（40項目）
- B区分：達成度を数値化して表せないもの（13項目）
- 具体の点検項目は次のページに表示した。
- なお、評価を行う点検項目は、平成25年度から平成27年度の3年間で整備を実施したものを対象とした。（次ページの「H25～H27の事業実施」欄で◎及び○の項目が対象）

# 4. 進捗点検の項目

河川整備計画の目次		No	指標番号	点検事項	点検項目	点検区分	H25～H27の事業実施	
4.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項		1	治水-1	洪水等による災害の発生防止又は軽減	流下能力	A	△	
4.1.1 外水対策に関する事項	1) 堤防整備 (1) 下流部無堤対策	2	治水-2	下流部無堤対策【ひの其他地区】	堤防施工延長	A	○	
		3	治水-3	下流部無堤対策【戸島地区】	堤防施工延長	A	◎	
		4	治水-4	下流部無堤対策【瀬戸・津居山地区】	堤防施工延長	A	○	
		5	治水-5	稲葉川合流部無堤対策【日高地区】	堤防施工延長	A	○	
	(2) 上流部無堤対策	6	治水-6	上流部無堤対策【鶴岡地区、日置地区】	堤防施工延長	A	○	
		7	治水-7	堤防の質的強化対策	堤防施工延長	A	◎	
	(3) 洪水時の河道水位	8	治水-8	中郷遊水地整備	掘削土量、堤防施工延長、浸透対策実施延長	A	○	
		4.1.2 内水対策に関する事項		9	治水-9-1	内水対策	地域との調整状況	B
4.1.3 地震・津波対策に関する事項		10	治水-9-2	内水対策	河川法施行令第2条7号に基づいて整備した河川の、管理者への引き渡し状況	A	△	
		11	治水-10	地震対策	河川管理施設の照査の実施状況、耐震対策の実施状況	A	△	
		12	治水-11	津波対策	河川管理施設の津波影響検討の実施状況、津波対策の実施状況	A	△	
		13	治水-12	治水対策全体	外水対策、内水対策、地震・津波対策	A	△	
4.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項								
		1) 適切な流水管理	14	利水-1	適切な流水管理	指導状況	A	△
			15	利水-2	適切な流水管理	水利用の実態及び水需要を踏まえた適正な水利権許可	A	△
		3) 渇水への対応	16	利水-3	渇水対応	関係機関との協議状況	B	△
			17	利水-4	利水対策全体	正常流量の確保	A	△
4.3 河川環境の保全と整備に関する事項								
4.3.1 特徴的な自然環境の保全・再生に関する事項		18	環境-1	ヨシ原の再生【下鶴井地区等】	整備面積、ヨシ原再生状況	A	△	
						B		
4.3.2 湿地環境の再生に関する事項		19	環境-2-1	大規模湿地再生【加陽地区】	整備面積、ヨシ原再生状況	A	○	
		21	環境-2-2	大規模湿地再生【中郷遊水地】	整備面積、ヨシ原再生状況	A	△	
		20	環境-3	湿地の質的改良	整備延長	A	○	
		21	環境-4	外来植物の侵入抑制	侵入抑制対策実施状況	B	○	
4.3.3 水生生物の生態を考慮した河川の連続性確保に関する事項		22	環境-5	上下流の連続性の改善	魚道の設置・改善の指導状況	A	○	
		23	環境-6	合流部の落差解消	落差解消数、指導状況	A	○	

※ H25～H27の事業実施：◎は完了した項目、○は事業が進捗した項目、△は事業を継続して実施する項目

# 4. 進捗点検の項目

河川整備計画の目次		No	指標番号	点検事項	点検項目	点検区分	H25～H27の事業実施	
4.3.4	モニタリングに関する事項	24	環境-7	モニタリング	モニタリング状況	A	○	
4.3.5	河川景観に関する事項	25	環境-8-1	河川景観の保全	写真撮影状況	B	△	
		26	環境-8-2	河川景観の保全	写真撮影状況	B	△	
4.3.6	1)河川水質	27	環境-9	河川水質	水質観測地点のBOD	A	△	
		28	環境-10	水生生物調査	小学校等との協働状況	A	△	
	2)水質事故	29	環境-11	水質事故	水質事故状況	B	△	
		30	環境-12	水質事故	関係機関との協議状況、水質事故訓練状況	A	△	
		31	環境-13	環境対策全体	特徴的な自然環境や湿地環境の保全・再生及び河川の連続性確保、河川水質	A	△	
4.4 河川の維持管理に関する事項								
4.4.1	河川管理施設等の維持管理に関する事項	1)堤防、護岸等の管理	32	管理-1-1	堤防、護岸等の管理	堤防点検状況	A	○
			33	管理-1-2	堤防、護岸等の管理	巡視状況	A	○
		34	管理-2	堤防除草	堤防除草実施状況、コスト縮減状況	A	○	
	2)その他の河川管理施設(水門、樋門、樋管、排水機場等)	35	管理-3	河川管理施設の管理	点検状況、長寿命化計画の作成状況	A	○	
		36	管理-4	河川管理施設の管理	研修会・訓練等の開催状況	A	△	
		37	管理-5	河川管理施設の管理	遠隔監視・操作化の状況、自動制御化の状況	A	◎	
4.4.2	河川区域の管理に関する事項	1)河道内樹木の管理	38	管理-6	河道内樹木の管理	A B	○	
4.4.2	河川区域の管理に関する事項	2)河道内堆積土砂の管理	39	管理-7	河道内堆積土砂の管理	A B	○	
		3)不法行為等の防止	40	管理-8	不法行為等の防止	啓発活動実施状況	A	△
4.4.3	河川の情報提供等に関する事項	1)防災情報の提供	41	管理-9	防災情報の提供	A B	△	
4.4.3	河川の情報提供等に関する事項	3)危機管理対策	42	管理-10	危機管理対策	A	△	
4.4.4	河川空間の利用に関する事項		43	管理-12	川と触れあい親しめる河川空間の保全	河川の利用状況	B	△
			44	管理-11	河川空間の利用	看板等による情報提供状況、広報等の取り組み状況	A B	△
4.5 地域との連携に関する事項								
4.5.1	コウノトリの野生復帰への取り組みに関する事項	45	地域-1	コウノトリの野生復帰への取り組み	関係機関や地域住民との連携状況	A	△	
4.5.2	河川の愛護活動に関する事項			河川愛護活動	アドプト制度の導入状況	A	△	
						B		

※ H25～H27の事業実施:◎は完了した項目、○は事業が進捗した項目、△は事業を継続して実施する項目